

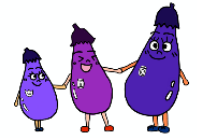
南っ子だより^{10号}

飽田南小学校だより

令和7年12月24日(水)

文責:松永 和宏(校長)

学校教育目標 人を大切に し 健やかで よく学び けじめのある 南っ子の育成
～こどもが主役 笑顔があふれ、安心して過ごせる学校づくり～



2学期も大変お世話になりました

8月末の酷暑の中からスタートした2学期。通常の授業の充実、各学年や学校全体での様々な取り組みを通し、こどもたちはしっかりと成長してくれました。今日の終業式で体育館に入る姿、話を聞く姿はとても落ち着いていて素晴らしいものでした。保護者、地域の皆様におかれましては、今学期も教育活動へのご理解、ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。明日から冬休みです。それぞれの冬休みを過ごし、1月8日(木)、またこどもたちと会えるのを楽しみにしています。

自分も、人も大切に

さて、学校だよりの7号で「飽田南小のこどもたちの横断後のあいさつに感動した。」という話を紹介させていただきましたが、先週、その逆のご指摘を地域の方より頂きました。「龍王神社近くの三角地帯の横断歩道で、曲がろうとした所、こどもたちの姿が見えたので、停まって待っていたのですが、横に広がっておしゃべりしながらこちらを確認せず渡り、最後はこどもたちからにらみつけられたように感じました。」とのことでした。何度も同じことがあり、思い余って連絡されたとのことでした。ほかにも、同じような思いをされた方も多くおられるかもしれません。日頃より交通ルール、マナー等について話をしていましたが、改めて、各担任からこどもたちに具体的に話をし、注意喚起を行いました。

さらに、今日、終業式では私から「自分も、人も大切に」ということについてこどもたちに以下のような話をしました。

冬休みは夏休みに比べて短いけれど、その中で年越しなど、大切な行事がたくさんあります。その中で「自分も大切、人も大切に」してほしいと思います。例えば、お正月に、あまり会ったことのない親戚のおじさんから「あけましておめでとう。大きくなったね。」などと声をかけられたらどうしますか？

(「あいさつする」「緊張する」「逃げる(!!!)」などの声が上がる中で)

めったに会わない人だから、恥ずかしいかもしれないよね。でもそこで何も言わなかったらそれは「相手を大切に」しているかなあ。

(首を振る児童が多数)

逆にそこでしっかりあいさつできたら、相手も嬉しいし自分も嬉しくなると思うよ。

その後、いくつかの例を出した後に、今回の地域からのご指摘の話も出し、「渡った後に礼をする、つまり相手を大切にすると、相手もあなたのことをよく思う。つまり自分も大事にすることになるんですよ。」といった話で締めくくりました。(よければご家庭でも話題にさせていただき、他者との関わり方について話をいただければと思います。)

その後、冬休みのくらし、健康についてそれぞれの担当から話をしてもらいました。その中で共通事項をして、タブレットやスマホ、ゲームの使い方について話がありました。これらは楽しくて有益なものですが、使い過ぎによって健康被害や依存症を引き起こしたり、生活リズムが乱れたりします。また、課金して家族に迷惑をかけた、SNSやチャットによるトラブルなども発生することがあり、一度起きてしまうと解決に時間がかかってしまいます。この点については「自分を大切に」という視点で再度ご家族でも話をし、きまりを決めていただけたらと思います。